



What's up, OITA!

世界で活躍する県人会員と留学生OB、大分県関係者の皆さま方に、大分の「今」をお伝えします。

第45回 全国育樹祭 開催



第45回全国育樹祭が、11月12日（土）・13日（日）の2日間にわたり大分県内で開催されました。

全国育樹祭は、継続して森を守り育て、次の世代に引き継ぐことの大切さを伝える国民的な緑の祭典です。毎年秋期に開催されています。

今回のテーマは「豊かなおおいた 森林を育み 木と暮らし」で、大分県では昭和52年に別府市で1回目の「全国育樹祭」が開かれて以来、45年ぶり2回目の開催となりました。

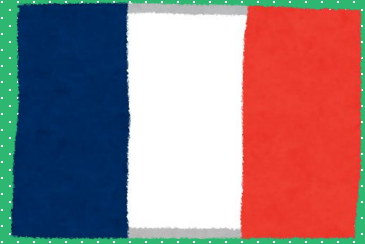


お手入れ行事では、秋篠宮皇嗣同妃両殿下により、第51回全国植樹祭において、天皇皇后両陛下（現上皇ご夫妻）が植えられた樹木のお手入れが行われました。



式典行事では、長年、緑化活動にご尽力された団体・個人の皆様が表彰されました。また、歌や創作ダンスによるメインアトラクションでは、大会テーマ「豊かなおおいた 森林を育み 木と暮らし」に込められた思いを参加者の皆様へ伝えるとともに、大分県の森林・林業の魅力を参加者の皆様へPRしました。

在京都フランス総領事館 ジュール・イルマン総領事 が来県されました



ジュール・イルマン総領事と

12月20日（火）、在京都フランス総領事館のジュール・イルマン総領事が大分県を訪れ、広瀬勝貞知事を表敬訪問しました。

広瀬知事から、県が力を入れている「宇宙港」の取組について説明し、イルマン総領事も興味深く話を聞かれました。

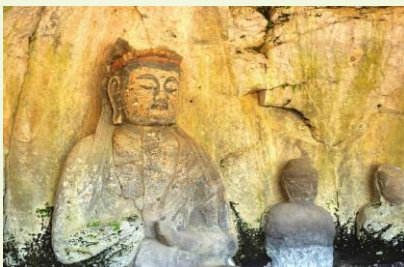
今後、大分県とフランスの文化面・経済面でのさらなる交流が期待されています。



県内のニュース

11月に起こった県内の出来事やニュースについてご紹介します。

- ・「歴史を紡ぐ誇りを胸に」 大分西高で60周年記念式典
- ・ホーバー船体「宇宙港をイメージ」 大分県がデザイン発表、船名募る
- ・ホーバー旅客ターミナル、大分側の起工式 来年12月完成予定
- ・広瀬知事引退表明 「県民中心の県政」継承を
- ・鹿児島全共、種牛第1区で県勢2位 久住高原農高が高校・農業大学の部11位
- ・大分高書道部と大分上野丘高化学部、全国大会最優秀を市長が表彰
- ・日本とスリランカの懸け橋に 別府市で親日協会発会式
- ・海沿いや山道を快走、特産物も堪能 ツール・ド・佐伯、1087人がエントリー
- ・津久見市八戸地区、別れの秋季大祭 大規模な鉱山開発で全住民移転へ



白杵石仏



大分市



姫島村

News from Fufu 由布市からのお知らせ

由布市
ホームページ



由布市の旅のご案内はこちらで

由布市ツーリストインフォメーションセンター



JR由布院駅の隣にあり、観光のご案内はもちろん、辻馬車やノルク、レンタサイクルなどの予約・受付も行っていきます。2階は展望デッキと旅の図書館。由布岳を眺めながら、ゆったりした時間を過ごせます。



← 由布市ツーリストインフォメーションセンター公式サイト

Instagramにてワクワクする旅のヒントを発信中！ →



グリーンスローモビリティ「nolc（ノルク）」

ゆふいん巡りは、ゆっくりノルク。

nolcは、時速20km未満で走行する環境に優しい電気自動車。

由布院駅を出発し、フローラハウス～宇奈岐日女神社をゆっくりと巡ります。

ゆふいんの風景をお楽しみください。



由布院の朝霧



冬の由布院では、盆地が霧に包まれる神秘的な光景に出会えます。昼夜の寒暖差が大きく、湿度があり、風がないという気象条件が揃った早朝だけ見ることができます。蛇越展望所は朝霧の先に雄大な由布岳を望める絶景スポット。

由布市に宿泊して、早朝ドライブでの見学がおすすめです。

湯平温泉

江戸時代より湯治場として栄えてきた湯平温泉。

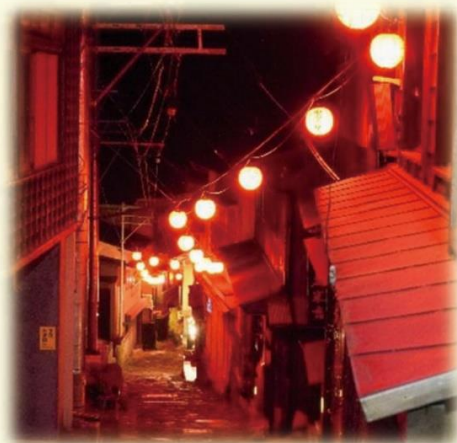
夜になると歴史ある石畳の坂道には、赤い提灯が灯り、しっとりとした風情を感じられます。

現在は共同浴場「銀の湯」が利用可能です。

(10時～14時、入浴料200円)



湯平の素材を使い、湯平旅館女将たちが丁寧に作った「ゆのひらんアイス」を賞味ください。





<特集> 東アジア文化都市 1



1

行事は日中韓の青少年が日本の開催都市の横浜で4泊5日間エクスカージョンと交流をするもので、



ヨコハマトリエンナーレ2014 砂の彫刻作り



山下公園でのぶちアドベンチャー

5

チョンナム クァンジュ 今から8年前、全南の光州に住んでいた高校二年の時、学校の掲示板である募集をみた。



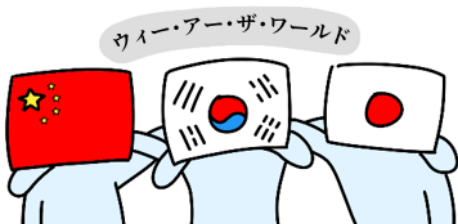
2

少しだが日本語が話せた私はずっと楽しく、心の通じ合う交流ができ国際交流に興味を持つきっかけとなった。



6

「東アジア文化都市 参加者募集」日中韓がともにする交流行事の青少年参加者を募集する内容だったが、



3

時は流れ、私は大分の国際交流員になり運命のよう、東アジア文化都市2022に大分県が選定されたことを耳にした。



7

当時、日本語を勉強していた私は外国人の友達をつくれると思い、早速応募、そして堂々と合格した。



4



8

2
今の私を作ったとしても過言ではない、とても大切な思い出です! ♥

from our Reporters 国際交流員だより



◆ 九重町の子供に韓国を伝える



ノ・ジョン
韓国国際交流員 盧知榮

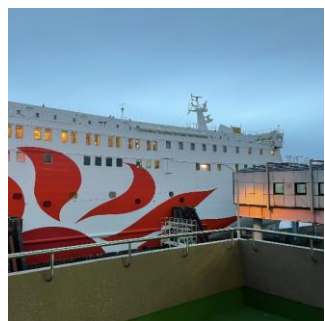
先日、「東アジア文化都市2022大分県」の市町村連携事業として、九重町のある小学校に出前講座に行ってきました。講座では、1年かけて様々な芸術文化交流を進めてきた韓国・慶州市について紹介し、また慶州市が新羅王朝の都であったことから、新羅の金冠作りもしました。子供たちが積極的に参加してくれたおかげで、賑やかな意見交流ができ、それぞれの個性がわかる金冠をつけて集合写真を撮るなど、非常に盛り上がり、宝のような時間となりました。コロナの影響により久々の対人業務でしたが、子供たちも楽しい思い出になったようで何よりです！



◆ さんふらわ～、さんふらわ～

アメリカ国際交流員 オースティン・ヴォーン

先日、友達と一緒に京都へ旅行に行きました。移動手段は知り合いのおすすめでフェリーにしまして、別府⇄大阪の船で、僕は初めて（文字通りに）大船に乗りました。スピードボートなど、小さな船のことでしたら、何度も乗っていますし、子供の頃、運転すらしたこともあります。でもさすがに、「内々陸」のユタ州には大きい船を出す場所がありません。グレート・ソルト湖は名前の割に、そこまで「グレート」じゃないですし、渡るとしても待つのが砂漠だけ...とにかく、大船の甲板に立ち、別府と大分の夜景が通り過ぎるのを見ることがとても快感で、また乗りたいと思っています。幸いなことに船酔いもしないのであります。



◆ 両親と由布院へ

イギリス国際交流員 スワラ・ファイフ

10月末に両親がやっと来日できました！1年ぶりに会えたので、わくわくしていました。私の「home」になった大分県に両親を案内してきました。日帰りとして大分市、臼杵市、別府市に行ったほか、由布院の旅館で1泊泊まりました。由布院へゆったりと電車に乗り、いつものように両親と一緒に笑ったり、喋ったりしました。由布院での食べ歩きの後、旅館まで登りました。静かな近所にある旅館からの景色がすごかったです。両親にとって日本は初経験だったので、和風の部屋にしました。温泉もついていたので、水着を着て、夕方前の赤い太陽が当たっている山を見ながら、両親と一緒に由布院の雰囲気を楽しみました。両親が日本を満喫できて嬉しくて嬉しいです。



あなたの活動を世界に紹介しませんか？

県人会の活動(懇親会等)や留学生OBの近況など、世界中の大分県関係者に紹介したい話題をお寄せください！
(様式は任意です)

【記事提供／お問い合わせ先】

国際政策課 担当: 伊藤、キム

【Mail】a10140@pref.oita.lg.jp

募集中!

